

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年5月25日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市村角町島ノ前 1346 番地 1
名 称 東大宮地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 吉田 昌良
電話番号 0985-20-6232

令和5年3月31日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告書
- (ロ) 収支決算書
- (ハ) 事業別収支計算書
- (ニ) その他

令和4年度収支決算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

1 総括

令和4年度はコロナの規制が緩和されいろいろな事業が再開された。東大宮中学校での防災フェスティバルには約700人の来場があり「久しぶりに人に会えたのがうれしかった」との意見もあり人と繋がる事業が必要だと再確認した。防災釜戸も完成し、お披露目会や子ども食堂との共催で釜戸料理を楽しんだ。第8回短歌大会は前年を超える応募があり、久しぶりに表彰式が開催されてとても好評だった。地域まちづくりアドバイザー派遣事業による長友宮子氏の講演会は民生委員や自治会長などの参加があり、大変有意義な内容だった。歌声コミュニティは「コミセン祭り」「健康ふくしまつり」に出演し久しぶりに歌声を届けた。楽々ダンス共催事業では、さんさんクラブの協力により参加者が延べ300人となった。スマホ講座では、初めてスマホを使う方を対象に少人数での講座が大変好評で何度も繰り返し受講される方もいてロコミで受講者が増えて行った。一方、コロナ感染者の増加時期もあり地産の料理を広める調理実習が出来ず残念だった。令和5年度は「人が集まる事業」をたくさん開催したい。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	3,656,000	3,656,000	0	
繰越金	1,931,674	1,931,674	0	
負担金(参加費)	10,000	0	10,000	
使用料(大判プリンター)	5,000	8,372	▲ 3,372	
自己資金(預金利息)	24	29	▲ 5	
合計	5,602,698	5,596,075	6,623	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	地域防災訓練事業	14年目	500,000	454,899	45,101	執行残
防	地域防犯パトロール事業	14年目	540,000	507,107	32,893	執行残
防	災害対策事業	2年目	191,000	206,053	▲ 15,053	防災釜戸の材料費の高騰
福	健康・介護を学ぶ事業	1年目	145,000	632	144,368	県外講師をアドバイザー事業に変更
福	認知症予防と健康維持の実践	4年目	130,000	58,205	71,795	ふくしかわら版を発行しなかった
環	大島通線花舞街道創作事業	12年目	451,000	342,115	108,885	街路樹剪定が1回になった
再	ドリームかわらばん事業	9年目	155,000	81,729	73,271	広報誌の発行が1回だった
伝	歌声コミュニティ	4年目	188,000	107,562	80,438	コロナにより一部中止
伝	「短歌のまちづくり」を進める	4年目	184,500	208,700	▲ 24,200	応募者増加
伝	大島通線短歌ロード事業	2年目	410,000	419,302	▲ 9,302	取付材料費
伝	地産の料理を広める事業	2年目	50,000	1,366	48,634	準備していたがコロナにより中止
他	まちづくり推進委員会活動費	11年目	1,271,198	1,029,796	241,402	執行残
他	まちづくり計画推進事業	10年目	645,000	428,199	216,801	コロナにより縮小
他	健康ふくしまつり共催事業	4年目	255,000	284,350	▲ 29,350	材料費高騰
他	地域で子育て支援共催事業	3年目	313,000	184,472	128,528	コロナにより縮小
他	楽々ダンス共催事業	1年目	174,000	139,242	34,758	執行残
繰越金				1,142,346	1,142,346	
合計			5,602,698	5,596,075	6,623	

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 地域防災訓練事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	360,000	
2	繰越金	140,000	
3			
4	合計 (A)	500,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	12,000	司会謝金
3	旅費		
4	需用費	365,999	消耗品 48,439
			啓発用品 20,628
			製本印刷費 33,775
			各自治会防災訓練用啓発用品 133,698
			燃料費 12,000
			食糧費 117,459
5	役務費	26,900	切手 6,900
			傷害保険 20,000
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	50,000	電気工事費・音響設備費
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	454,899	

収支差額 (A) - (B)	45,101
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ 地域防犯パトロール事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	380,000	
2	繰越金	160,000	
3			
4	合計 (A)	540,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	144,107	消耗品費 15,596 見守り隊ジャンパー 30,000 車修理費 59,400 燃料費 (青パト) 36,896 製本印刷 2,215
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	363,000	車両リース料 (30,250円×12カ月)
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	507,107	

収支差額 (A) - (B)	32,893
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ウ 災害対策事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	191,000	
2			
3			
4	合計 (A)	191,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	36,000	防災釜戸作成謝金
3	旅費		
4	需用費	166,233	防災釜戸材料費 75,930 消耗品費 90,303
5	役務費	3,820	傷害保険 3,600 ゴミ処理料 220
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	206,053	

収支差額 (A) - (B)	-15,053
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 健康・介護を学ぶ事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	145,000	
2			
3			
4	合計 (A)	145,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	632	製本印刷費
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	632	

収支差額 (A) - (B)	144,368
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ 認知症予防と健康維持の実践
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	130,000	
2			
3			
4	合計 (A)	130,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	20,000	講師謝金5,000円×4回
3	旅費		
4	需用費	10,505	消耗品費 4,080 製本印刷費 6,425
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	27,700	自治公民館使用料 3,700 マージャン用品使用料 24,000
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	58,205	

収支差額 (A) - (B)	71,795
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 大島通線花舞街道創作事業
-----	----------------

(1) 収入の部 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	301,000	
2	基礎交付金	150,000	
3			
4	合計 (A)	451,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	116,115	消耗品費 39,201 啓発用品 50,493 食糧費 22,181 製本印刷費 4,240
5	役務費	6,000	傷害保険
6	委託料	218,000	街路樹剪定
7	使用料及び賃借料	2,000	トラック使用料
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	342,115	

収支差額 (A) - (B)	108,885
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア ドリームかわらばん事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	115,000	
2	繰越金	40,000	
3			
4	合計 (A)	155,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	40,000	年間ホームページ管理
3	旅費		
4	需用費	37,375	製本印刷費
5	役務費	4,354	年間レンタルサーバー、ドメイン
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	81,729	

収支差額 (A) - (B)	73,271
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア 歌声コミュニティ
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	188,000	
2			
3			
4	合計 (A)	188,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	102,000	講師謝金6,000円×17回
3	旅費		
4	需用費		
5	役務費	5,562	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	107,562	

収支差額 (A) - (B)	80,438
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ 「短歌のまちづくり」を進める
-----	------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	104,500	
2	繰越金	80,000	
3			
4	合計 (A)	184,500	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	35,000	講師謝金、大会審査謝金
3	旅費		
4	需用費	164,635	啓発用品 (賞品) 146,276 消耗品費 3,049 印刷製本費 15,310
5	役務費	9,065	傷害保険 1,665 通信運搬費 7,400
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	208,700	

収支差額 (A) - (B)	-24,200
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ウ 大島通線短歌ロード事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	110,000	
2	繰越金	300,000	
3			
4	合計 (A)	410,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	36,000	短歌看板取付・取替謝金
3	旅費		
4	需用費	383,302	短歌看板プレート 176,000 短歌看板外枠 187,000 消耗品費 19,024 食糧費 1,278
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	419,302	

収支差額 (A) - (B)	-9,302
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	エ 地産の料理を広める事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	50,000	
2			
3			
4	合計 (A)	50,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	1,366	消耗品費
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	1,366	

収支差額 (A) - (B)	48,634
----------------	--------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ア まちづくり推進委員会活動費
-----	-----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	444,500	
2	繰越金	821,674	
3	使用料	8,372	大判プリンター使用料
4	自己資金	29	銀行利息
5	合計 (A)	1,274,575	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費		
3	手当	408,191	事務局員4名 休日出勤・時間外手当
4	旅費	33,250	役員旅費14名 監査2名
5	需用費	261,891	消耗品費 226,123 製本印刷費 13,020 修繕費 22,748
6	役務費	201,825	通信費他 137,565 手数料 10,010 ボランティア保険 54,250
7	委託料		
8	使用料及び賃借料	45,133	パソコン保守料、wi-fiレンタル
9	工事請負費		
10	原材料費		
11	備品購入費	79,506	プロジェクター、非接触放射温度計、ワイヤレスピンマイク
12	積立金		
13	合計 (B)	1,029,796	

収支差額 (A) - (B)	244,779
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	イ まちづくり計画推進事業
-----	---------------

(1) 収入の部 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	395,000	
2	繰越金	240,000	
3	負担金		
4	合計 (A)	635,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	144,000	スマホ講座講師謝金6,000円×24回
3	旅費		
4	需用費	207,221	消耗品費 46,221 はたちの集い・卒業記念品 161,000
5	役務費	3,218	スマホ講座傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	6,000	はたちの集いパネル用足場
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	67,760	オートディスプレイスタンド2台
11	積立金		
12	合計 (B)	428,199	

収支差額 (A) - (B)	206,801
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	ウ 健康ふくしまつり共催事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	255,000	
2			
3			
4	合計 (A)	255,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	121,350	消耗品費 45,674 啓発用品 3,854 食糧費 44,027 印刷製本 27,795
5	役務費	13,000	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	150,000	仮設物設置撤去、音響、電気設備
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	284,350	

収支差額 (A) - (B)	-29,350
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区

東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	エ 地域で子育て支援共催事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	313,000	
2			
3			
4	合計 (A)	313,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	96,000	保育士謝金3,000円×2名×12回 72,000 講師謝金6,000円×2名×2回 24,000
3	旅費		
4	需用費	77,272	消耗品費 52,092 賄材料費 25,180
5	役務費	11,200	傷害保険560円×15回 R5年度560円×5回
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品費購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	184,472	

収支差額 (A) - (B)	128,528
----------------	---------

事業別収支計算書

東大宮地域自治区
東大宮地域まちづくり推進委員会

事業名	オ 楽々ダンス共催事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	174,000	
2			
3			
4	合計 (A)	174,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	120,000	講師謝金6,000円×20回
3	旅費		
4	需用費	15,730	製本印刷費
5	役務費	3,512	傷害保険
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品費購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	139,242	

収支差額 (A) - (B)	34,758
----------------	--------

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	ア 地域防災訓練事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標1 安全・安心なまち ○防災に関する知識を深めます 基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします														
目的 (期待される効果)	いつ起こるか分からない災害に備えて、地域住民の防災意識高揚のため合同防災訓練の一環として「防災フェスティバル」を開催する。 様々な防災活動に触れ、災害への備えを再確認し、小さな子どもから高齢者まで家族みんなで楽しく防災を学ぶ。														
事業内容・手段	①防災フェスティバル [開催日時] 令和4年10月16日(日)10:00~13:00 [場 所] 東大宮中学校 [参加団体] 水道局・消防団・消防局・自衛隊・キャンパス宮崎・民生委員 各自治会・夢つなぐ東大宮・みやざき犬・キッチンカー(5台) 防災フェスティバルを3年ぶりに開催。天候にも恵まれ、協力団体も多く、久々の地域のイベントということで来場者から好評だった。 今後のコロナ禍での開催も感染対策を十分に行えば可能であるということを実証出来たと思う。 ②自治会防災訓練支援事業 各自治会の防災訓練時に啓発用品を配布するなど協力を行う。 (火切塚、大島北団地、平原、雁ヶ音西、自由ヶ丘団地、大将堀、原、大島西団地の計8自治会)														
事業費	454,899円														
対象者	東大宮地域および近隣住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度(防災フェス)</th> <th>令和4年度(②自治会)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>700人</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>180人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>880人</td> <td>400人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度(防災フェス)	令和4年度(②自治会)	一般参加者	700人	400人	スタッフ	180人	0人	合 計	880人	400人
年 度	令和4年度(防災フェス)	令和4年度(②自治会)													
一般参加者	700人	400人													
スタッフ	180人	0人													
合 計	880人	400人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりで、又、来年もきたいと思います! ・もしも、さいがいがおこった時にもどうしたらいいかわかった ・いろいろな体験ができて楽しかったです。 ・じしんたいけんとドライシャンプーができてよかった。 ・水道局の体験がとても勉強になりました。 ・防災より、人に会えたのがうれしかった。 ・子どもがたくさん体験できてよい経験になった。 ・血管年齢も分かり良かったです。 ・消火器訓練、良かったです。 ・大変素晴らしいフェスティバルでした。 ・お天気で良かったです。若い人達の子づれで多くみえていたのが良かったですね。防災への意識も高まりました。 ・自衛隊の車両など間近に見れて楽しかった ・いざ起こる災害への心構えができました。 ・防災の大切さに改めて気づきました。 ・災害の備えに様々なもの、設備があることを学べる良い機会になりました。 ・いろいろな体験コーナーがあり、良かったと思います。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	いつ起こるか分からない災害に備えて、防災意識高揚と地域住民の繋がりを深めるため必要である。	広報	⑤事業の周知	A	B	①チラシを自治会全戸、小中学校に配付し、大島通線沿い事業所にはポスター掲示を依頼した。 ①フェスティバルの様子をMRTテレビが取材に来た。
	②住民の参加	A	B	防災フェスティバルは3年ぶりの開催で地域に限らず近隣住民も老若男女問わず多数参加して大好評だった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	『安全で安心なまち』『人と人との輪のまち』づくりのために、地域防災訓練事業の取組みは妥当である。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	—	水道局、消防団、消防局、自衛隊、夢つなぐ東大宮、キャンナス、民生委員等各種団体の出展協力があった。			事業継続の必要性		④・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <p>・コロナ禍ではあったが感染対策をした上で開催し、参加者や協力参加団体からも大好評だった。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>						未・済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>						未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	イ 地域防犯パトロール事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了： なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標1 安全・安心なまち ○防犯パトロールの充実を目指します 基本目標2 人と人との輪のまち ○あいさつやマナーの向上を目指します														
目的 (期待される効果)	東大宮地域内を青色パトロール車で巡回することにより、犯罪を抑止し、子どもたちの見守りや健全育成に努める。 学校と連携し、スクールゾーンの注意喚起及び啓発を行う。 地域住民が安心して暮らせる安全・安心なまちづくりを目指す。														
事業内容・手段	①青色パトロール車による地域の巡回及び啓発日程表を作成し、自治会毎に巡回する。 [巡回日] 小中学校登校日の下校時間頃や夜間等 (夏休み・秋休み期間中の月曜日～金曜日を含む) [巡回者] 自治会・社会福祉法人事業者など ②青色パトロール講習会 北警察署による講習会を1回開催した。 講師 宮崎北警察署 生活安全課 坂口氏 日時 令和4年5月27日(金) 19時～20時 場所 東大宮コミセン研修室・和室・平原公民館(リモートで開催) 対象者 今年度更新者、新規登録者 合計37名参加 ③スクールゾーンの看板等の維持管理。倒れた看板の補修等。 → 今年度は看板の補修等はなかった。 ④昨年度、東大宮地域の見守り隊や青色パトロール隊の共通ジャンパーを作成し配付したが、今年度から足りない分を少しづつ追加していく。 → Lサイズを追加作成した。														
事業費	507,107円														
対象者	東大宮地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>青パト講習会</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>37人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41人</td> <td>56人</td> </tr> </tbody> </table>			青パト講習会	令和4年度	令和3年度	参加者	37人	52人	スタッフ	4人	4人	合計	41人	56人
青パト講習会	令和4年度	令和3年度													
参加者	37人	52人													
スタッフ	4人	4人													
合計	41人	56人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	青色パトロール車が巡回することで犯罪の未然防止と子ども達の見守りになる。	広報	⑤事業の周知	B	B	各自治会長へ青パト実施者の更新・新規の講習案内を配付。	
	②住民の参加	A	A	25自治会と社会福祉法人事業者の協力により青色パトロール車での巡回パトロールを行っている。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域住民の安全を守るために必要な事業である。	事業の効果	⑦住民の満足度			A	A
	④各種団体との連携	A	A	北警察署生活安全課による『青パト講習会』を開催。年末年始特別警戒の発隊式に参加。			事業継続の必要性		有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・青パト講習会はコロナ感染拡大防止のため昨年度から一部リモートでの開催を実施し、今年度は平原公民館で行った。問題点も見つかり、一つ一つ改善していきたい。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	ウ 災害対策事業	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和3年度	終了： なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標1 安全・安心なまち ○防災に関する知識を深めます 基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします		
目的 (期待される効果)	いつ起こるか分からない災害に備えるため、今、考えられる対策を行う。		
事業内容・手段	[内容] 災害時に炊き出しに使用できる防災かまどを設置する。 → 6月中旬、防災かまど設置のための『行政財産目的外使用』許可を市より受ける。9月中旬にかまど完成。 9月22日(木)お祓いと火入れ式 9月23日(金・祝日)午前中 お披露目会 参加者 部会員(家族含む)、子ども食堂招待 参加人数 約70人(スタッフ含む) [備考] 防災かまど完成後は、防災訓練時に炊き出しを行うなど、地域の皆さんに日頃から使い慣れてもらえるように活用する。		
事業費	206,053円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	・9月23日(金・祝日)午前中 お披露目会 参加者 部会員(家族含む)、子ども食堂招待 参加人数 約70人(スタッフ含む)		
住民の声(アンケートの結果等)	・防災かまどでは『地域子育て支援共催事業』にも声を掛け、子ども食堂も参加し子どもたちは自分たちでピザを作って焼いて食べて、とても喜んでいました。		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	イザという時に防災かまどを誰でも使えるように実体験させていく。	広報	⑤事業の周知	B	B	コロナ禍のため部会員と社協の子ども食堂のみに広報した。
	②住民の参加	A	—	部会員やその家族、社協の子ども食堂にも体験してもらおう。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	部会員やその家族、社協の子ども食堂にも体験してもらおう。ゆくゆくは自治会にも広げていく。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	—	社協や自治会、他の部会にもどんどん利用してもらって、災害時に誰でも使えるかまどにしていく。			事業継続の必要性		○ ・ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お披露目会では久々のイベントだったこともあり、子どもたちが調理などにも楽しく参加して笑い声が絶えなかった。 ・防災かまどだけではなく『ツインクッカー』という調理器を使ってホットケーキや炊き込みご飯、赤飯などの『ハイゼックス食』も作り、災害時の調理を体験してもらえた。 							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応		未・済	
		<意見への対応>						未・済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応		未・済	
		<意見への対応>						未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	ア 健康・介護を学ぶ事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始：令和4年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三件両隣」の精神を大切にします														
目的 (期待される効果)	多様なあり方、多様なコミュニケーションの取り方、多様な価値観について、学びと交流から理解を深め繋がるきっかけづくりをする。														
事業内容・手段	<p>今年度事業として当初『菅原直樹氏』の講演を予定していたが、費用面の折り合いがつかず、部会員が講演を聞いてみたいと言われていた長友宮子氏に依頼した。</p> <p>講演『住み続けたいまち』～深い絆・夢と笑顔のあふれるまち～ [会場] 東大宮地区コミュニティセンター2階研修室 [日時] 令和5年2月4日(土) 10:00～12:00 [定員] 30人 [内容] 講師は、デイサービスや宅配弁当、子ども食堂などを運営し、地域でのまちづくりサポートの仕組みを構築中。子育て支援、高齢者支援や地域包括ケアシステムに関する事業を立上げ約16年間行っており、現在、居住地の地域協議会委員と民生委員として活動している。 精力的に活動をしている講師自身の経験談などを話していただき、東大宮のまちづくりのこれからを考える機会になった。</p>														
事業費	632円														
対象者	東大宮地区民生委員・まちづくり部会員他														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部会員他</td> <td>27人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>5人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>32人</td> <td>14人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	部会員他	27人	13人	スタッフ	5人	1人	合 計	32人	14人
年 度	令和4年度	令和3年度													
部会員他	27人	13人													
スタッフ	5人	1人													
合 計	32人	14人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・大変良い話を聞きました。事業として経営しているが福祉をメインにされていることで感動しました。 ・当地区では世帯数が少なく同様な事業?は難しいが、考えさせられることは多かった。大変有意義な時間を有難うございました。 ・色々な活動や地域によって困り事などが違っていたり、同じ問題など「あー同じ事を思っていたり、そういう事すればいいんだ」と、とても勉強になりました。やはり色々な方の話を聞く事、ディスカッションはとても大事ですね!! ・自分が慣れ親しんだ場所に住み続けること、理想ではあるが難しいと思っていました。長友さんのお話を聞いて、一人一人が何かできることをまずやってみると良いと思います。 ・事例をあげてくわしくお話して下さりよく分かりました。意見もたくさん出まして活発な話し合いだったと思いました。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	健康・介護に関する具体的な地域の課題は何か、それをどう解決していくかを把握する必要がある。	広報	⑤事業の周知	A	A	会場の人数制限のため、まちづくり部会員と新民生委員にチラシを配付した。
	②住民の参加	A	B	コロナ禍のため会場の人数制限があるため、まちづくり部会員と新民生委員に参加を限定した。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の課題を把握し解決に取り組むことは重要である。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	市内の他地区で実際に地域の課題に取り組んでおられる人に講師を依頼した。			事業継続の必要性		⑧・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間半の講演のうち45分は質疑・意見交換の場になり、自治会加入率の問題等の活発なやり取りができ意義深い時間だった。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応		未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>						対応		未・済

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	イ 認知症予防と健康維持の実践	実施年数	4年目
事業期間	開始：令和元年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします		
目的 (期待される効果)	健康を維持し、生きる喜びを感じ、人と人とのコミュニケーションを円滑にし、ふれあいの輪を広げ地域の居場所づくりになる。		
事業内容・手段	<p>◇健康マージャン(AM9:00~11:00)</p> <p>① 9月28日(水)東大宮地区社協 参加者 10人 ②10月26日(水)東花ヶ島公民館 参加者 11人 ③11月10日(木)大島北団地公民館 参加者 15人 ④12月28日(水)波島公民館 参加者 7人</p> <p>◇健康維持の実践 ・今回は講座開催したので福祉部会かわら版については発行しなかった。</p>		
事業費	58,205円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	<p>◇健康マージャン(AM9:00~11:00)</p> <p>① 9月28日(水)東大宮地区社協 参加者 10人 ②10月26日(水)東花ヶ島公民館 参加者 11人 ③11月10日(木)大島北団地公民館 参加者 15人 ④12月28日(水)波島公民館 参加者 7人</p>		
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・講師が優しく、詳しく、熱心に教えておられたので、参加者の評判が良かった。 ・初めての参加者もだいぶ興味を持たれて「これが出来るところやったらどこでも行くわ」という方もおられた。 ・今回の参加者が他の団体の健康マージャンにも顔を見せられ、集える場所を求めていることが分かった。 ・特徴的なのは、その地区の人じゃなくても一旦来られたら「次はどこですか」と聞かれて、次の公民館にも参加されていた。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	以前参加したことがある住民からは「次はいつ開催されるのか」との問い合わせがある。	広報	⑤事業の周知	A	B	チラシを自治会の班回覧し、A2判ポスターは自治会の公民館や集会場への掲示を依頼した。
	②住民の参加	A	—	コロナ禍のため人数を10人までに制限していたが、規定人数以上の参加もあり、好評だった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	B	高齢者の居場所づくりになり、住民間の繋がりが出来るので、重要な取り組みである。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	地域の公民館等を会場として利用した。			事業継続の必要性		④ ・ 無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は4回だけの開催だったが、参加者から「もっと開催してほしい」との意見が多くあったので、来年度からは開催回数を増やしていきたい。 ・大島北団地ではお子さんが参加されて、とても楽しそうに教えてもらっていたので世代を跨いで楽しめる事業だと確信した。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

[3] 環境に係る事業

事業名	ア 大島通線花舞街道創作事業	実施年数	12年目																				
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし																					
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします ○あいさつやマナーの向上を目指します 基本目標3 地域の力を育むまち ○子どもは地域の宝として見守り育てます</p>																						
目的 (期待される効果)	<p>東大宮地域を縦断する大島通線を地域のシンボルロードとしてマス花壇を整備し花を植え、街路樹を剪定することによって、地域をきれいに保つ。</p>																						
事業内容・手段	<p>①令和4年6月26日(日) [参加人数] 合計144人(参加者137人、スタッフ7人) [内 容] マス花壇88ヶ所の草抜き、花苗の植栽</p> <p>②令和4年11月27日(日) [参加人数] 合計85人(参加者73人、スタッフ12人) [内 容] 歩道の雑草除去とマス花壇の樹木の小枝伐採</p> <p>③街路樹の剪定 令和4年10月7日、造園業者に委託し実施</p>																						
事業費	342,115円																						
対象者	東大宮地域住民																						
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>137人</td> <td>73人</td> <td>27人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>7人</td> <td>12人</td> <td>13人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>144人</td> <td>85人</td> <td>40人</td> <td>76人</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度		令和3年度		一般参加者	137人	73人	27人	64人	スタッフ	7人	12人	13人	12人	合 計	144人	85人	40人	76人
年 度	令和4年度		令和3年度																				
一般参加者	137人	73人	27人	64人																			
スタッフ	7人	12人	13人	12人																			
合 計	144人	85人	40人	76人																			
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、参加を楽しみにしている人が多い。 ・近隣住民から「いつも手入れしていただいてありがとうございます」と感謝されている。 																						

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域のシンボルロードのマス花壇を手入れすることにより、きれいなまちが実現する。	広報	⑤事業の周知	A	B	①自治会班回覧、小中学校、みどりの少年団に配付。 ②開催判断が開催日の2週間前になったため小中学校のみの配付になった。
	②住民の参加	A	B	自治会、小中学校、みどりの少年団に声を掛けた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	東大宮地区のシンボルロードを地域住民で作上げる事業である。	事業の必要性	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	B	小中学校・みどりの少年団・自治会に参加依頼をした。			事業継続の必要性	有 ・ 無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・13年目に入る年2回の事業は、環境部会員を中心に地域住民や小中学校の子ども達の協力もあり、『いつもきれいな大島通線の花壇』と定着してきた。さらに2年前より短歌プレートを掲げており、地域住民からますます注目される事業なので、今後も継続していく。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[4] 地域再生に係る事業

事業名	ア ドリームかわらばん事業	実施年数	9年目
事業期間	開始：平成26年度	終了： なし	
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標2 人と人との輪のまち ○地域の体育・文化活動を推進します</p> <p>基本目標3 地域の力を育むまち ○地域の人材を発掘し、リーダーを育てます</p>		
目的 (期待される効果)	<p>東大宮地域のまちづくり活動を中心に情報収集を行い、地域住民へ様々な手法により情報発信を行うことで、まちづくり事業への興味を深め、地域への愛着を持ってもらう。</p>		
事業内容・手段	<p>①情報紙「ドリームかわらばん」 … 今年度は『はたちの集い特集号』の発行のみになった。(3月下旬発行) 来年度は『防災フェスティバル』と『はたちの集い』の2号発行を目指したい。</p> <p>②ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを運営し、情報を細やかに早く伝えると共に、東大宮地域住民だけでなく東大宮地域出身者や東大宮地域に興味のある地域外の方、まちづくり活動に興味のある方にも情報を発信する。 … ホームページは部会員、フェイスブックとインスタグラムは事務局が担当して随時発信している。</p> <p>③インターネット利用の広報活動の普及にともない、地域の写真を幅広い年齢層から提供してもらうことを目指すため、スマホやデジカメの「講座」を開催する。 … 今年度はコロナ禍の状況予測が困難だったため、実施計画を立てることができなかった。</p> <p>④東大宮地域の事業所や飲食店などと協力して広報活動を行う。また、まちづくり協力店舗マップ等を作成し、地域内に向けて名所を知ってもらうようにする。 … 今年度は実施できなかった。</p>		
事業費	81,729円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	該当なし		
住民の声(アンケートの結果等)	該当なし		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域住民にまちづくりの事業や行事などを紹介し、広く知ってもらう。	広報	⑤事業の周知	A	B	ホームページやフェイスブック、インスタグラムを継続して随時更新した。	
	②住民の参加	A	A	情報紙『はたちの集い』は、二十歳を迎えた卒業生が参加した。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくりが地域で行っている行事などを住民に広報することは必要なことである。	事業の効果	⑦住民の満足度			B	—
	④各種団体との連携	A	—	『はたちの集い』は中学校体育館で開催され、撮影には学校やPTAの協力があった。			事業継続の必要性		④ ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・『はたちの集い特集号』を発行することが出来た。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 伝統文化に係る事業

事業名	ア 歌声コミュニティ	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和元年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします														
目的 (期待される効果)	歌う喜びや楽しさを共有し、地域の方々との交流親睦を図る。新規加入者を増やし、地域の活動に積極的に参加してもらえよう取り組む。														
事業内容・手段	<p>[内容] 定期的を開催して唱歌、叙情歌、懐かしい流行歌を生伴奏で合唱する。</p> <p>[日程] 毎月第2、第4、火曜日、午前10時半～11時半</p> <p>[場所] 東大宮地区コミュニティセンター 研修室</p> <p>… 4～5月、7～9月前半と1月前半はコロナ禍により実施できず、合計16回実施した。</p> <p>11月20日(日)コミセンまつりに参加 参加者20人、スタッフ7人</p> <p>3月12日(日)ふくしまつりに参加 参加者21人、スタッフ2人</p>														
事業費	107,562円														
対象者	東大宮地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度(16回開催)</th> <th>令和3年度(5回開催)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>262人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>72人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>334人</td> <td>95人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※申込者数 42名 (参加者延べ人数は表の通り)</p>			年 度	令和4年度(16回開催)	令和3年度(5回開催)	一般参加者	262人	73人	スタッフ	72人	22人	合 計	334人	95人
年 度	令和4年度(16回開催)	令和3年度(5回開催)													
一般参加者	262人	73人													
スタッフ	72人	22人													
合 計	334人	95人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で歌うことがないので、とても楽しく参加しています。 ・毎回楽しく歌っております。もう少し時間が長ければいいなと思っています。 ・健康の為にいつも大声を出す事がないので、のどのたん錬にといいましてさんかさせて頂きました。 ・これからの人生、人とのふれあいを大切に外に出ていきたいと思っています。お世話される方は大変だと思いますが、よろしく願います。 ・先生の優しくて深く教えてもらってうれしい。頭のとっぺんから声を出すより少し下げて欲しい ・知ってる曲が多く楽しいです。 ・以前にも参加しました。なつかしく声をかけてくださって、とてもうれしかったです。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	声を出すことによりストレス発散になり、参加者との交流も盛んになる。	広報	⑤事業の周知	B	B	コロナ禍により開催予定が立てられなかったため、チラシ作成が出来ず、開催案内は昨年参加者に連絡した。	
	②住民の参加	A	B	毎回参加される人以外に口コミで新しく参加される人が増えた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	ストレス発散と参加者の交流親睦に有意義な活動である。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	一緒に合唱することにより、交流親睦が深まり地域の文化活動などが活発になる。			⑦住民の満足度	A	B	昨年度よりは開催回数が増えたため、参加者から好評だった。
	④各種団体との連携	A	A	コミセンまつりとふくしまつりに参加できた。	事業継続の必要性		有 ・ 無			
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から比べると倍以上開催出来て、参加者から喜ばれた。 ・「コミセンまつり」や「ふくしまつり」への参加が出来て、発表する場があり練習に活気が出た。 ・次年度は介護老人保健施設と合唱ができるように検討したい。 								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応		未・済	
		<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 伝統文化に係る事業

事業名	イ「短歌のまちづくり」を進める	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和元年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	基本目標2 人と人との輪のまち ○地域の体育・文化活動を推進します 基本目標3 地域の力を育むまち ○子どもは地域の宝として見守り育てます 基本目標4 文化を守り伝えるまち ○地域の文化を学び広めます														
目的 (期待される効果)	短歌大会を開催して地域の文化活動を育てる。														
事業内容・手段	短歌大会 [内容] 今年度は会場の入場制限があるため、一般の部のみのと表彰式を行う。学生部門についてはそれぞれの学校で表彰してもらう事を決定。 7月初旬、小中学校、北高校、自治会に短歌募集のチラシを配付。 9月2日、応募締め切り … 一般32首、高校生251首、中学生174首、小学生220首の合計677首。 一般、高校生、中学生、小学生高学年、小学生低学年の5部門の優秀賞1、秀逸3、佳作5、入選10を選んでもらう。 9月30日 蓑部先生から選評届く。 10月29日 短歌大会と表彰式開催(コミセン研修室) 11月10日 各学校へ賞品を届ける。														
事業費	208,700円														
対象者	東大宮地域住民														
参加者数 (内訳)	短歌大会表彰式(一般の部のみ) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>13人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>10人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※短歌大会全応募作品 677首。(昨年度は546首)</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	13人	0人	スタッフ	10人	0人	合計	23人	0人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	13人	0人													
スタッフ	10人	0人													
合計	23人	0人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌大会を開いていただきとても感謝しています。短歌をつくることで周囲のことに目が届くようになりました。今日は一句一句くわしく解説していただきとても勉強になりました。 ・第8回短歌大会入選出来るととても嬉しかったです。小学生低学年、小学生高学年、中学生の部、高校生の部、一般の部、とてもすばらしい短歌ですね。よく説明していただき良かったです。 ・毎日俳句をつくっています。短歌は初めてでしたが楽しく参加させていただきました。また機会があったら応募したいと思います。 ・短歌の知識がなかった自分には、たいへん勉強になりました。言葉の時制(亡くなった方の描写)を明確にしたり、鑑賞する側が理解できるような補いをするなどが新鮮でした。あいまいな表現や余白をありがたがる世界かと思って、これまで短歌を敬遠していましたか、わかりやすさに親しみを感じるようになりました。ありがとうございました。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	小中学生も毎年夏休み宿題になり、地域住民も楽しみにしており恒例になっている。	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシは自治会全戸、小中学校3校、北高校に配付。
	②住民の参加	A	A	今年度の応募は677首と昨年より1.24倍増となった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	老若男女、誰もが気軽に応募できる事業であり、地域文化として根付いている。	事業の効果		⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	小中学校、北高校にも広く参加を呼び掛けて、たくさんの応募があった。		事業継続の必要性		有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去2年間短歌大会の表彰式を開催できなかったが、今年度は一般部門のみの限定ではあるが開催できた。先生の選評がとても好評だった。来年度は全部門の表彰式開催を目指したい。 							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>						未・済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>						未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 伝統文化に係る事業

事業名	ウ 大島通線短歌ロード事業	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和3年度	終了： なし	
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標2 人と人との輪のまち ○あいさつやマナーの向上を目指します ○地域の体育・文化活動を推進します 基本目標3 地域の力を育むまち ○子どもは地域の宝として見守り育てます 基本目標4 文化を守り伝えるまち ○地域の文化を学び広めます</p>		
目的 (期待される効果)	<p>東大宮地域を縦断する大島通線を『東大宮短歌ロード』と称して、東大宮中学校横の街路樹にこれまで入選された方々の短歌を掲げる。</p>		
事業内容・手段	<p>[内 容]短歌大会の優秀作品の短歌プレートを街路樹に設置することにより地域の文化活動を推進し、短歌大会の参加者を増やしていきたい。短歌は定期的に差し替えを行う。他部会と協力し、中学校周辺の美化活動(ゴミ拾い等)を行い大島通線沿いの美化につなげる。 … ①7月1日(金)防犯・防災部会員の協力を得て、新規の枠の取り付けと短歌プレート40首を差し替えた。 ②12月22日(木)防犯・防災部会員の協力を得て短歌プレート40首を差し替えた。</p>		
事業費	419,302円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	該当なし		
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・東大宮中前の短歌ロードは我が家の散歩コースになっていますので、短歌プレートを見ながら歩いています。中学生の中には短歌を口にしながら、下校している生徒さんがいますので、良い刺激になっていると思います。 (地域住民からのハガキより)</p>		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	過去の優秀作品を定期的に替えて掲げることにより地域住民に短歌を親しんでもらう。	広報	⑤事業の周知	B	A	短歌を新しく入れ替えたことを周知していなかったため、次年度からその方法も考える必要がある。
	②住民の参加	A	A	短歌大会の応募や短歌ロードを見ながらの地域散策を楽しんでもらっている。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域みんなが参加している文化活動として定着する必要がある。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	掲げられる短歌は、小中学校、高校、地域住民からの短歌大会応募作品であり、毎回協力してもらっている。			事業継続の必要性		○ ・ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 短歌を差し替える際、古いプレートは作者本人に希望があればお渡ししている。その旨を連絡すると小中高校生の保護者から「短歌が掲げられていたことを知らなかった」という声もあった。今後は、掲げた際も連絡をするよう考えていく。 							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>						未・済	
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済	
		<意見への対応>						未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[5] 伝統文化に係る事業

事業名	エ 地産の料理を広める事業	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし	
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標4 文化を守り伝えまち ○地域の文化を学び広めます ○地産の農産物、伝統料理を守ります		
目的 (期待される効果)	東大宮地域の農産物を使って、次世代に伝えたい郷土料理などを学び地域の人たちに広める。		
事業内容・手段	[内容] 地域の郷土料理や体にやさしいアイデア料理を料理自慢の方々に教えてもらい、レシピを作成する。また、チラシや冊子に紹介する。 … コロナの感染拡大防止のため実行出来なかった。		
事業費	1,366円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	該当なし		
住民の声(アンケートの結果等)	該当なし		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—	地産の材料を使って、おひとりさまでも出来る時短料理が必要とされている。	広報	⑤事業の周知	—	—	コロナ禍のため未実施。
	②住民の参加	—	—	コロナ禍のため未実施。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	高齢者の一人世帯も多いので料理などを介して住民の交流を深める取組が必要である。	事業の必要性	⑦住民の満足度			—
	④各種団体との連携	B	—	老人クラブや民生委員、子ども食堂などと合同で実施したい。			事業継続の必要性	④・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・感染者が最も多い時期に計画を立てていた為、安全を重視して実施を見送った。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

[7] その他の事業

事業名	ア まちづくり推進委員会活動費	実施年数	11年目
事業期間	開始：平成24年度	終了： なし	
地域魅力発信プランとの関連	深い絆、夢と笑顔があふれるまち		
目的 (期待される効果)	東大宮地域まちづくり推進委員会の円滑な運営を目的とする。		
事業内容・手段	<ul style="list-style-type: none"> ・地縁団体との連携や部会との連絡調整を行う。 … コロナ禍で予定が立てられず未実施。 ・事務局員の休日・時間外活動を手当として計上する。 … 事務局員の休日・時間外活動を手当として適正に計上した。 ・他の地域や団体へ役員による視察や研修参加を行い、まちづくり活動に役立てる。 … コロナ禍で予定が立てられず未実施。 ・各部会の事業に必要な広告案内をする。 … 地域住民が参加したくなるような事業の広告案内作成を心掛けた。 		
事業費	1,029,796円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	該当なし		
住民の声(アンケートの結果等)	該当なし		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	コロナ禍だったがリモートでの青パト研修会を実施。	広報	⑤事業の周知	—	—	該当なし	
	②住民の参加	—	—	該当なし		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	リモート講演や研修会がスムーズに出来るよう、プロジェクターを購入し、モバイルルーターは昨年引き続き継続契約をした。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各事業計画を円滑に運営実行するために必要である。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	A	各部会の事業告知のチラシ等は地域住民に好評である。
	④各種団体との連携	B	B	各部会、社協や民児協、老人クラブ等との連携を引き続き強化していきたい。		⑧	無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・プロジェクター、ワイヤレスピンマイクの購入と草刈機4台の修繕を行った。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）> <意見への対応>					対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

[7] その他の事業

事業名	イ まちづくり計画推進事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う『向こう三軒両隣』の精神を大切にします 基本目標3 地域の力を育むまち ○地域の人材を発掘し、リーダーを育てます</p>														
目的 (期待される効果)	<p>「東大宮まちづくり計画」の実現に向け、支援者の募集、広報、各種団体や部会間の連携強化を行う。</p>														
事業内容・手段	<p>①まちづくり推進委員を対象に、いろいろな研修会等に参加しやすい環境をつくり、まちづくりに必要な知識を習得する。 … コロナ禍で予定が立てられず未実施。 ②リモート部会や講習会開催のため、スマホ講座を開催する。 … スマホ講座を月2回のペースで4回1クールとして6クール24回実施。 参加人数は208人、スタッフ68人の合計276人 ③地域の病院・薬局・飲食店を通じ「東大宮地域まちづくり推進委員会」の活動を広報支援し、将来的にまちづくり計画に参画できることを目的とする。お店マップを作成し、まちづくり広報支援先を拡大する。 … コロナ禍で予定が立てられず未実施。 ④小中学校の卒業式や成人式に積極的に参加協力を行い、卒業生とその保護者にまちづくり推進委員会に望むこと、また、まちづくりサポーターとして登録を依頼する。これを基に地元に住む若手支援者の発掘につながる仕組み作りをする。 … 小中学校の卒業生一人一人に今後もまちづくりへの協力依頼文とエコバックを贈呈。『はたちの集い』にもお祝いとしてエコバックを贈呈し、まちづくりを紹介。フォトスポットを設置し、まちづくりの写真撮影を実施し3月下旬『ドリームかわら版・はたちの集い特集号』として広報紙を発行。 ⑤将来の担い手づくりのため成人式(はたちの集い)の運営に協力をする。 … 昨年に引き続き中学校体育館での開催。『はたちの集い』用の撮影スポットを設置し、記念品としてまちづくりの名前入りのエコバックを贈呈。 ⑥学校と連携して、寺子屋事業を行い多世代交流の場をつくる。 … コロナ禍で予定が立てられず未実施。 ⑦まちづくり事業や会議時に、手話通訳・言語通訳・視覚障がい者の支援が必要な場合に専門家を手配する。 … 福祉部会で2回、介助通訳者を合計4名を手配した。</p>														
事業費	428,199円														
対象者	東大宮地域住民と営業店舗														
参加者数 (内訳)	<p>②スマホ講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>208人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>68人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>276人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	208人	—	スタッフ	68人	—	合 計	276人	—
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	208人	—													
スタッフ	68人	—													
合 計	276人	—													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・わかり易く説明して頂きありがとうございます。やはり使い慣れないと忘れてしまいそうです。次回も参加させて頂こうと思います。 ・スマホの活用はTELを掛ける、受ける、メール位で良いと思ってましたが、色々と利用方法が広がり勉強になりました。 ・せっかく持ってる携帯が使えずに、くやしかったのですが、どうにか使えるようになって、うれしいです。テキストを見ながら挑戦します。 ・先生の指導がとても良くて、わかりやすく親切でやさしくて…とてもすばらしかったです。 ・色々とわからない所がわかって、大満足でした。有難うございました。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	②ほとんどの高齢者もスマホを持っているが、便利な機能を使いこなせていない現状がある。	広報	⑤事業の周知	A	—	②当初、部会員や民生委員に声を掛け、その後は口コミで参加者が増えた。
	②住民の参加	A	B	②指導をきめ細やかにするため1講座を10名限度としていたが、好評でそれ以上の参加があった。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	②1クール4回の講座にしたが、何度も繰り返し練習することが必要と思われる。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	②自治会長や部会員がスマホを使いこなせれば、まちづくりからの連絡も簡単・確実になる。		⑦住民の満足度	A	B	②受講者全員が講師の指導について絶賛し、何回でも受講したいとの声が多かった。
	④各種団体との連携	A	B	②部会員に限らず民生委員や老人クラブにも声を掛け参加してもらった。	事業継続の必要性		④・無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホ講座は初めての試みではあったが、講師のテキストや指導方法が大変わかり易く、受講者から好評だった。1回だけではなかなか使いこなせないようなので何回でも受講して良い旨説明すると、皆が気軽に参加してくれ手ごたえを感じた。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	②ほとんどの高齢者もスマホを持っているが、便利な機能を使いこなせていない現状がある。	広報	⑤事業の周知	A	—	②当初、部会員や民生委員に声を掛け、その後は口コミで参加者が増えた。
	②住民の参加	A	B	②指導をきめ細やかにするため1講座を10名限度としていたが、好評でそれ以上の参加があった。	事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	②1クール4回の講座にしたが、何度も繰り返し練習することが必要と思われる。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	②自治会長や部会員がスマホを使いこなせれば、まちづくりからの連絡も簡単・確実になる。		⑦住民の満足度	A	B	②受講者全員が講師の指導について絶賛し、何回でも受講したいとの声が多かった。
	④各種団体との連携	A	B	②部会員に限らず民生委員や老人クラブにも声を掛け参加してもらった。	事業継続の必要性		有 ・ 無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホ講座は初めての試みではあったが、講師のテキストや指導方法が大変わかり易く、受講者から好評だった。1回だけではなかなか使いこなせないようなので何回でも受講して良い旨説明すると、皆が気軽に参加してくれ手ごたえを感じた。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] その他の事業

事業名	ウ 健康ふくしま祭り共催事業	実施年数	4年目
事業期間	開始：令和元年度	終了： なし	
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします</p> <p>基本目標4 文化を守り伝えるまち ○地域の文化を学び広めます</p>		
目的 (期待される効果)	<p>永年にわたり開催され、広く地域住民に知られる「健康ふくしま祭り」に参加することで自治会や地域の各団体と連携をとり、地域の活性化と絆づくりにつなげる。</p>		
事業内容・手段	<p>(内容)まちづくり各部会の活動の紹介や関係団体等への参加案内を通して、まちづくり推進委員会の活動を広く知らせる。 チラシ及びポスターの作成を行いふくしま祭りの広報活動を行う。 各種団体との協力により充実したまつりができるようにする。</p> <p>(場所)東大宮地区コミュニティセンター</p> <p>(日程)令和5年3月12日(日)10時～14時 …参加人数1,000人、スタッフ250人の合計1,250人</p> <p>(協力団体)地区社協、自治会連合会、自治公民館連絡協議会、民生委員、老人クラブ、地域の小中学校教頭・小中学校PTA、リフォーム協会、おもちゃ病院、交通安全協会、周辺地域の病院・保育園・児童館・福祉作業所、地域包括支援センター、青少年育成協議会、生涯学習推進協議会、JRA。</p>		
事業費	284,350円		
対象者	東大宮地域住民		
参加者数 (内訳)	参加人数1,000人、スタッフ250人の合計1,250人		
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・久々のイベントで、来場者から好評だった。 ・主催者側も4年ぶりの開催で、まつりをできる喜びがあった。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—	コロナ禍により3年間実施できず、感染拡大防止をして実施となり、住民から「開催を待ち焦がれている」との声が聞かれた。	広報	⑤事業の周知	A	—	ふくしまつりのチラシとポスターを作成し、自治会全世帯と小中学校全生徒、周辺事業所に配付した。
	②住民の参加	A	—	天候にも恵まれ4年ぶりの開催ということもあり、たくさんの来場者があった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	各種団体との連携が少しずつ強まっている。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	—
	④各種団体との連携	A	—	地域の活性化に各団体が協力して行えた。		事業継続の必要性	④	無	
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> ・高齢者や障がい者、車いす利用者も来場しやすいように、会場内をバリアフリー対応に設営した。 ・会場が混雑しないように、ホール内の出入口を一方通行にした。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済		
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済		
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] その他の事業

事業名	エ 地域で子育て支援共催事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和2年度	終了： なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標2 人と人との輪のまち ○地域で支え合う「向こう三軒両隣」の精神を大切にします 基本目標3 地域の力を育むまち ○子どもは地域の宝として見守り育てます</p>														
目的 (期待される効果)	<p>「こどもは地域の宝」をコンセプトに、地域でこどもを育てる気持ちで、子育て世代の親だけでなく学校、児童館、保育園等こどもに関わる団体等への支援体制づくりを推進する。</p>														
事業内容・手段	<p>①子育て世代のリフレッシュの為の子守り、学校での行事や行事等の一時預かりとともに、青少協、児童館等のもちつきやそうめん流し、フードドライブ事業などの協力、こども食堂や三世代交流の歩こう会等の支援を年間を通じて行う。 <預かり子守り> [会場] 東大宮地区社会福祉協議会 会議室他 [日時] 通年第1・第3月曜日(10時～12時) 合計14回実施(7月～9月中止) [備考] 保育資格者を2名依頼する。 <もちつき> [日時] 令和4年12月11日(日) 参加者 20人 コロナ禍のため子どもたちへの参加は呼びかけず、小中学校3校に鏡餅を寄付した。(参加者は主に社協、青少協役員、まちづくり事務局他) <歩こう会> [日時] 令和5年2月12日(日) 参加者138人、スタッフ20人、合計158人 (スタッフは民生委員、地区社協役員、まちづくり事務局他) <子ども食堂> 防犯・防災部会と合同で防災かまどを使って子ども食堂を開催した。</p> <p>②各部会協力し合い子育てに関わる事業を支援する。また、情報が行き届いていない方へチラシ配布やポスター掲示を行い情報発信していく。 … 歩こう会のチラシを配付。</p> <p>③地区社会福祉協議会での預かりでは、預かりボランティアの新たな担い手を受け入れ、預かりに際しての研修等を年に一回以上は行う。預け入れの際には、受け入れ安全面に考慮した受付用紙に記入してもらう。また預かりボランティアの確保が困難なときには、安全面を優先に受け入れの中止も検討する。 … [研修会]12月23日(金)に預かりボランティアの研修会実施</p> <p>④赤ちゃんを連れて一緒に学ぶことの出来るような企画を検討し、若い世代が地域とかかわりを持ってもらえるように支援する。 … 今年度は実施できなかったが、引き続き検討して具体的な実施を目指す。</p>														
事業費	184,472円														
対象者	東大宮地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>託児利用児童</td> <td>33人</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>48人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>81人</td> <td>126人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※託児を14回実施。(7月～9月コロナ禍のため休止)</p>			年度	令和4年度	令和3年度	託児利用児童	33人	89人	スタッフ	48人	37人	合計	81人	126人
年度	令和4年度	令和3年度													
託児利用児童	33人	89人													
スタッフ	48人	37人													
合計	81人	126人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・『歩こう会』が3年ぶりに開催され、毎年参加していた視覚障がい者の男性も久しぶりに顔を見せ、長い道のりをスタッフが寄り添い一緒に元気に歩いてくれたことに、全員が安堵しうれしかった。 ・『歩こう会』では民生委員や地区社協役員手作りのおにぎりや豚汁が「とっても美味しい」と好評で、豚汁のおかわりをする人が多かった。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項	
		本年度	前年度			本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域で子どもを育てるために、子どもに関わる団体等への支援体制が求められている。	広報	⑤事業の周知	A	—	①②『歩こう会』のチラシは班回覧で配付した。
	②住民の参加	B	A	①班回覧で140人近くの参加があったが、子ども達ももう少し参加してくれたら良かった。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地区社協と協力しての共催事業なので、今後も積極的に取り組んでいく。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	B	地区社協、民生委員、青少協と協力して実施できた。	事業継続の必要性			○有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・コロナ禍ではあったが、感染拡大防止策を取りながら各行事を出来る範囲で実施できたことが良かった。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済		
	<意見への対応>						未・済		
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済		
	<意見への対応>						未・済		

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域で子どもを育てるために、子どもに関わる団体等への支援体制が求められている。	広報	⑤事業の周知	A	—	①②『歩こう会』のチラシは班回覧で配付した。
	②住民の参加	B	A	①班回覧で140人近くの参加があったが、子ども達ももう少し参加してくれたら良かった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地区社協と協力しての共催事業なので、今後も積極的に取り組んでいく。	事業の必要性	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	B	地区社協、民生委員、青少協と協力して実施できた。					○有 ・ 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・コロナ禍ではあったが、感染拡大防止策を取りながら各行事を出来る範囲で実施できたことが良かった。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>								

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[7] その他の事業

事業名	オ 楽々ダンス共催事業	実施年数	1年目												
事業期間	開始：令和4年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標2 人と人との輪のまち ○地域の体育・文化活動を推進します 基本目標3 地域の力を育むまち ○地域の人材を発掘しリーダーを育てます</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域住民の交流を図り、身体を動かすことの楽しさとダンスの楽しさを感じてもらい健康増進に繋げる。</p>														
事業内容・手段	<p>[会場] 東大宮地区コミュニティセンター ホール [日時] 毎月第1、第3、土曜日 午後1時半～3時 [内容] さんさんクラブや東大宮地区社会福祉協議会と共催で、簡単にできるダンス教室を行う。専門の講師のもと、楽しく体を動かすことで「フレイル」を予防し、地域住民の交流を図る。 … 8月の2回、11月の1回、1月の1回を休み、全20回実施。</p>														
事業費	139,242円														
対象者	東大宮地区および周辺住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>220人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>68人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>288人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	220人	—	スタッフ	68人	—	合 計	288人	—
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	220人	—													
スタッフ	68人	—													
合 計	288人	—													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ入会間もない。参加回数も少ない。しかし充実した動きは脳に刺激を与えてとても良い。 ・私は左足が不自由の為ためらっていたのですが、友達の誘いで来ました。皆さんと一緒に出来ませんがそれなりに動いています。皆さんにはごめいわくかけますが自由にやりますので、ご心配なく。来てうれしいです。 ・ボケ防止とリハビリになって、とても良いと思います。 ・けんこうのため。たのしい。 ・体を動かすことがとても良く、楽しく参加させて頂いて居ります。ストレッチやいろいろリハビリと思い頑張ります。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	—	地域住民の交流を図り、身体を動かすことの楽しさを感じながら健康増進に繋がる。	広報	⑤事業の周知	A	—	自治会の全戸配付とさんさんクラブや社会福祉協議会にも配付し、ポスター掲示も依頼した。	
	②住民の参加	A	—	教室に参加した人が友だちに声を掛け、地域住民のみならず周辺住民の参加者が増えた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	—	募集チラシには実際に行っているダンス教室の写真を掲載し、参加のしやすさをアピールできたのではないかな。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	老人クラブだけでなく、広く地域住民に呼びかけて参加を募るのは必要な業務である。			⑦住民の満足度	A	—	
	④各種団体との連携	A	—	さんさんクラブや社会福祉協議会と共催にして開催できた。	事業継続の必要性		㊦ ・ 無			
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> さんさんクラブが行っていたダンス教室を広く地域住民に知らせ、たくさん参加してもらうために、まちづくりでチラシとポスターを作成しチラシは全戸配付、ポスターは、さんさんクラブや社協に掲示を依頼し、結果、参加人数が増えた。 								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>				対応	未・済			
		<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>				対応	未・済			
		<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第10号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年5月25日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市村角町島ノ前1346番地1
名 称 東大宮地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 吉田 昌良
電 話 番 号 0985-20-6232

令和5年3月31日付で変更交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において1,142,346円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添 付 書 類

令和4年度収支決算書

(様式第 8 号)

令和 5 年 5 月 16 日

令和 4 年度 東大宮地域まちづくり推進委員会への意見書 [事業実施報告]

東大宮地域自治区地域協議会
会 長 後 藤 正 昭

令和 4 年度の東大宮地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。

なお、承認に際し、特に意見はありませんでした。